

## 首都圏の県人

新宿区に会社事務所を構え、全国各地で開催される市民参加型の自転車や駅伝イベントの運営に携わっている。日本にスポーツを根付かせることを理念に掲げ、社名に反映させている。「スポーツには人を感動させる力がある。生きてて良かったという瞬間をたくさん作り出したい」

特に力を注いでいるのが、自転車の地域活性化・ツーリズム事業「ツール・ド・ニッポン」シリーズ。昨年度は全国14カ所で1万4千人が参加し、本年度はさらに拡大させようと考えている。

どのイベントにも企画段階から関わっている。関係機関一つ一つ足を運んで協力を求

## 自転車・駅伝で感動を

ルーツ・スポーツ・ジャパン社長

中島 祥元氏 (高岡市出身)



なかしま・よしもと 福岡高校、早稲田大人間科学部卒。2009年2月、ルーツ・スポーツ・ジャパンを設立。公共性の高いイベントに主体的に取り組むため、12年1月には一般社団法人ウィズスポも設立した。都内で妻、子供2人と暮らす。40歳。

めるなど、裏方としての苦労は多いが、その分やりがいも大きい。「イベントをきつかけに日常的にスポーツを楽しむ人が増えるたらうれしい」

富山県内のイベントでは、5月に開催された「高岡ねがいみち駅伝」の運営をサポートした。出身地の活性化に貢献したいとの思いは強く、実行委員会メンバーたちとはすぐに意気投合したという。

趣味はスポーツ観戦。最近では、バスケットボールBリーグの富山グラウジーズが1部残留を決めた試合に胸を熱くした。サイクリングや音楽ライブも好きで、「どれも『感動』という共通点がある」と笑顔を見せる。